



おおつきたかし
大月隆司議員

「やさしい日本語」の取組について問う

議員 外国人技能実習生等の受入れや、観光政策でも役立つ「やさしい日本語」の取組により、住みやすい環境づくりの取組ができていかたずねる。

市長 近年の訪日外国人を国別に見ると、英語では補完できない非英語圏のアジア系外国人が増えてくる。日本遺産認定を契機とする観光施策として、観光パンフレットや観光案内板等の多言語化を推進しているが、全ての言語に対応することは困難である。

課題の解決策の一つになり得るのが「やさしい日本語」であり、東京オリンピック・パラリンピックに向けての多言語対応の手段の一つとしても奨励されている。今後は観光パンフレットや案内看板をはじめ、観光施設内の説明など



への活用も検討していく。ホスピタリティーの観点からも外国人観光客にとって簡単で分かりやすい受入れ環境の充実を図る。

サポートハートマークについて問う

議員 助けが必要な方を助ける意思があることを示せるサポートハートマークを災害時に活用できないかたずねる。

危機管理部長 今後、防災訓練等でサポートハートマークを実際に体験をしていただいて、有用なものであれば、避難所に持参する資機材の中に準備をしていきたい。

健康福祉部長 障がいのある人に限らず、妊婦も含めて支援の必要な方ということで、現在県が推進しているあいサポート運動のバッジとは使い方も守備範囲も少し違うため、今後研究する。



やまもと さとし
山本 聡議員

笠岡湾干拓地の有効利用について問う

議員 市民意識調査では、干拓地の利活用の推進について満足度が上がってきた。次の5点についてたずねる。①水と緑のふれあい広場の再整備を図れるか。②新笠岡港に隣接する緑地の整備計画はあるか。③干拓内の防風林は景観面からも見直しができないか。④農道空港の利活用のため仮眠施設等の設置はできるか。⑤牛を利用したセラピーを実施できるか。

産業部長 ①プロポーザルの結果、高糖度トマト栽培の計画が採択されたが、実質的な整備計画が明確でないため、引き続き民間活力の導入を含め検討する。②県の施設であるため要望があれば伝える。③機能面及び景観に配慮し、要望があれば土地改良区に伝える。④当面は機能拡充の一つとして検討



する。⑤体験型の取組を検討中の方もおり、相談等に応じていく。

耕作放棄地の解消に向けて

議員 人口減少とともに労働人口も減り、耕作放棄地が増大し、生産性の低い土地により重労働となり、担い手不足に拍車がかかっている。農林水産省の白書にも女性の農業者が重要な役割を果たしているところある。本市は耕作放棄地の増大速度が早まっているというが、対策はどうなっているか。

産業部長 次世代園芸施設、スマート農業の推進が功を奏し、女性の農業従事者は増加している。農作物の付加価値向上のため、農業者自らによる創出が図られているが、女性目線による取組の機会の創出を検討する。女性農業者のコミュニティづくり等も需要に応じて対応したい。